



お客さまとのかかわり

企業
理念

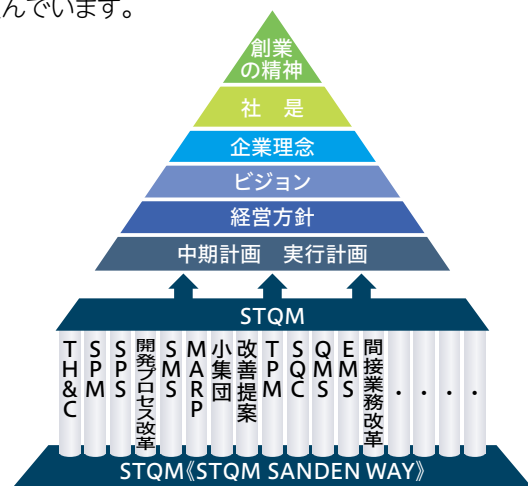
技術開発とモノづくりを基本として、品質を第一に考え、常に世界中のお客様に満足される魅力のある製品、システム、サービスを提供します。

サンデングループは社是のひとつに「顧客のためになるよい製品を作ります」を掲げています。魅力のある製品、システム、サービスを常にお客さまに提供し続けるというお客さま第一の精神を実践しています。



品質向上を目指してSTQM活動を展開

サンデングループは1994年に独自の経営品質改善活動STQM(Sanden Total Quality Management)活動をスタートさせ、世界トップクラスの経営品質を目指してきました。STQMとは、「個々のマネジメント品質、及び、結果品質を徹底的に向上させて、21世紀に繁栄する会社を創り上げるため、毎日、毎日の創造改革努力を積み重ねる行動である」と定義しています。世界中のお客さまに最速で高品質の製品を提供していくため、当社グループは、方針管理、PDCAサイクル、人材教育に加え、職種別、階層別、事業所別などの革新・改善の活動を、様々な形で展開しています。さらにこの活動をグループ全体に拡げること、で、「グローバル・エクセレント・カンパニーズ」の実現に取り組んでいます。



R&D EXPO開催

サンデングループはグローバルな将来成長に向けて、技術開発の方向性とその目標をグループ間で共有する場としてR&D EXPOを開催しています。8回目となる今年度のコンセプトは「技術でつくるOne SANDEN、

One Dream ～将来の成果に繋げる技術開発の共有～」で、主要5領域のテーマを展示しました。



STQM世界大会

STQM活動は国内のみならず全世界のサンデングループに展開しており、小集団活動世界大会も行っています。2016年7月には「我々は一流でなければならない」をコンセプトに第9回STQM世界大会を赤城事業所(群馬県)で開催しました。

大会では、模範となるベストプラクティス3事例の紹介と、海外23カ国・地域の54拠点で活動する1,200サークルからブロック※1予選を勝ち抜いた18サークル※2が小集団活動事例を発表し、グランドチャンピオンを決定しました。総勢1,200名が参加して21事例に対して英語、中国語を介して理解し、参加者全員の学びの場となりました。



※1 ジャパンブロック、アメリカブロック、ヨーロッパブロック、中国ブロック、アジア1ブロック、アジア2ブロック

※2 日本4サークル、中国4サークル、ポーランド2サークル、フランス2サークル、アメリカ、メキシコ、マレーシア、イラン、インド、フィリピン各1サークル

Web

サンデン CSR お客さま

検索

<http://www.sanden.co.jp/csr/disp.cgi?mode=detail&id=10>



株主・投資家とのかかわり

企業
理念

会社を成長させ企業価値を高めるとともに、経営の透明性向上により、株主・投資家の信頼と期待に応えます。

サンデングループは、株主や投資家の皆さまに長期的にご支援いただくため、投資判断に有益な会社状況について説明責任を遂行することが重要であると考えています。



持株会社体制でグローバル成長を目指します

サンデングループは2015年、さらなるグローバル成長を実現していくために持株会社体制へと移行しました。

そして株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営方針のひとつとして位置付けており、連結業績に応じた利益配分を基本として、連結配当性向30%を目途に安定的かつ継続的な配当を実施してまいります。2016年3月期の期末配当につきましては、連結業績、財務状況および次期以降の業績見通しを総合的に勘案し、1株当たり年間15円の年間配当を実施しました。

2015年6月に施行されたコーポレート・ガバナンス・コードの趣旨を踏まえ、当社グループの経営戦略などを的確に理解していただけるよう努めることで、株主・投資家の皆さまからの信頼と適切な評価を得ることを目指します。具体的には、当社グループをご理解いただく目的で四半期ごとに決算短信(和文・英文)を発行、第2四半期と第4四半期に金融機関・機関投資家向けに決算説明会を行い、当日の発表資料(和文・英文)を当社ウェブサイトに掲載しています。さらに、金融機関・機関投資家向けには取材や面談を年間およそ140回開催しています。当社グループは株主・投資家の皆さまの信頼と期待にお応えするため、さらなるコミュニケーションの促進を図ります。



第90期定時株主総会を開催

2016年6月、埼玉県本庄市にあるサンデンコミュニケーションプラザにおいて「第90期定時株主総会」を開催しました。株主の皆さまにサンデングループの「環境技術・製品」をご理解いただくため展示ブースを設置し、CO₂コンプレッサーや電動コンプレッサー、デジタルサ

イネージ自動販売機、CO₂コンプレッサーを搭載した店舗用ショーケース、ヒートポンプ給湯機、コーヒーマシンなどを製品とパネルで紹介しました。総会後は、会社施設見学会を開催し、グローバルマザー工場である八斗島事業所(自動車関連工場)、世界の技術開発を統括するグローバルセンター(技術開発センター)、「環境と産業の矛盾なき共存」を実現した森の中の工場サンデンフォレスト・赤城事業所(流通関連工場)をご覧ください。

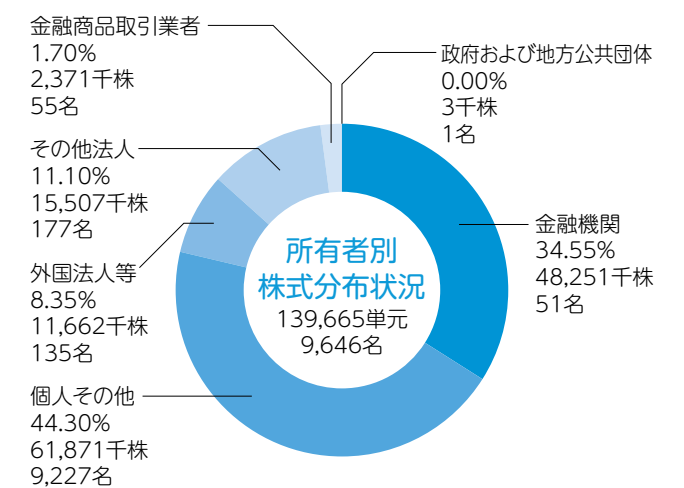


株主総会展示ブース



株式総数と株主の状況

2016年3月31日現在におけるサンデンホールディングスの発行済株式総数は140,331,565株、総単元数は139,665単元(1単元は1,000株)、総株主数は9,646名となっています。



Web

サンデン CSR 株主

検索

<http://www.sanden.co.jp/csr/disp.cgi?mode=detail&id=9>



地域社会とのかかわり

企業
理念

世界各地域の慣習や文化を尊重するとともに、地域社会の発展や文化の向上に貢献します。

サンデングループは様々な活動を通じて地域社会と深くかかわり、企業市民としての役割を果たしています。
「社会との共生」を基本に据えて地域社会との関係づくりに努めています。

サッカー(U-11)スポンサーシップ 「第1回サンデンカップ」開催

2016年1月、群馬県伊勢崎市寿町のサンデンフットボールパークで「第1回サンデンカップ」を開催しました。地域の子供たちのスポーツ振興と地域コミュニティの活性化を目的としたもので、群馬県内の小学生サッカーチーム(U-11)10チームが参加しました。



サンデンカップ

命の尊さを伝え分かち合うマラソンに参加

2015年9月、Sanden Manufacturing Europe S.A.S.(フランス)とSanden International (Europe) Ltd. Sanden Environmental Solutions(フランス)は、がん克服のための寄付を集めるチャリティーマラソン大会に出場しました。このマラソンには2012年から参加しています。現地社員から集められた500ユーロはがん協会へ寄付しました。



マラソンに参加した社員たち

地元の小学生にCSR教育を実施

2015年11月、SandenVendo Europe S.p.A.(イタリア)は、地元の小学生を対象としたCSR教育活動「Green Children Project」を行っており、2015年度は電子ホワイトボードを地元の小学校に寄贈しました。



地元の小学生にCSR教育



ワークキャリア開発支援

Sanden (Thailand) Co., Ltd.(タイ)は2015年8月、海外人材育成プログラムの一環として日本の大学生と教授合わせて75名の訪問を受け入れました。講義や工場見学を通して国際ビジネスと、ワークキャリア開発について学んでいただきました。



工場を見学する学生



継続的な清掃活動

2015年10月、Sanden International Taiwan Corporation(台湾)は毎年行っている環境改善を目的とした清掃活動を台中市内で行いました。



清掃活動



地域の大学生と共に取り組む サンデン環境みらい財団

サンデングループの若手技術者が中心となり、地域の大学生と共同で取り組む活動「環境ネットワークキャンパス(愛称:E-キャン)」*の第6期生26名は、2015年4月から1年にわたり3つのプロジェクトで自治体提案や東日本大震災の復興支援活動に取り組みました。

*サンデン環境みらい財団はこの「E-キャン」の活動を事業とし、人材育成につなげています。



草木染めのワークショップ



ソーラークッカーのワークショップ



取引先とのかかわり

企業
理念

取引先とは公正かつ透明な取引関係に基づき、お客様に対し最高の製品、システム、サービスを提供できるビジネスパートナーとして、ともに成長します。

グローバルに展開するサンデングループの継続的发展には、競争力のある材料・部品が不可欠です。
取引先とは、真のビジネスパートナーとして信頼関係の構築に努めています。



取引先への感謝を込めて 「G-CF会」を開催

サンデングループでは、取引先の生産活動や当社グループ製品の拡販活動に対する感謝を込めて、G-CF会を毎年開催しています。その中で、当社グループの経営方針を説明し、経営活動を理解いただき、強固な信頼関係を築くよう努めています。

2016年2月のG-CF会には取引先92社に参加いただき、2015年度に当社グループに多大な貢献をしていただいた取引先に対し、感謝状の授与を行いました。

※Global Create Future会



G-CF会



「強み・自慢技術提案会」の実施



開発者とのコミュニケーション

2013年3月より、取引先が保有する「強み」と「自慢技術」を当社開発者向けに紹介いただき、新製品開発・次期モデルに織り込むこと(ニーズ・シーズのマッチン

グ活動)で製品競争力強化と両社がWIN-WINとなる関係構築を図っています。

2015年度までの提案会開催回数は54回、提案いただいたテーマ数は132テーマで、新製品開発に役立っています。



内部統制による MPS(購買)*業務の適正化と体制構築

サンデン社内の全MPS機能において、組織がその目的を有効・効率的かつ適正に達成するために、業務プロセスの継続的な見直しを図っています。

MPS業務遂行のために必要な要件をあらゆる視点で調査しまとめた57項目に対し業務レベルチェックを毎年行い、改善活動を行っています。2015年度からは26項目(統括・計画、戦略、業務管理、取引先管理、変更管理、リスク管理)を強化項目とし、さらなるレベルアップを図っています。

※Materials & Parts Supply



小集団活動の活性化支援

1993年より毎年2回「取引先小集団成果報告会」を開催し、2016年4月で第46回(23年目)を迎えました。参加取引先は69サークルと過去最高となり、活動レベルも年々向上しています。



安全衛生・環境保全の改善推進

サンデングループは、重点取引先における安全衛生・環境保全に関する取り組み状態を直接訪問・確認し、それらにかかるリスクの最小化および改善を推進しています。

Web

サンデン 社会貢献活動

検索

<http://www.sanden.co.jp/environment/activity.html>

Web

サンデン CSR 取引先

検索

<http://www.sanden.co.jp/csr/dispatch?mode=detail&id=4>



社員とのかかわり

企業理念

挑戦と改革の企業文化を基本として、人間性尊重の精神に溢れた自由闊達な組織文化を築き、社員とともに成長していきます。

サンディンググループは、社員が能力を最大限に発揮できるような職場環境を整備することが、企業としての成長につながると考えています。そのためにも、社員の心身の健康保持と徹底した労働安全衛生の確保に努めつつ、ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりに注力しています。

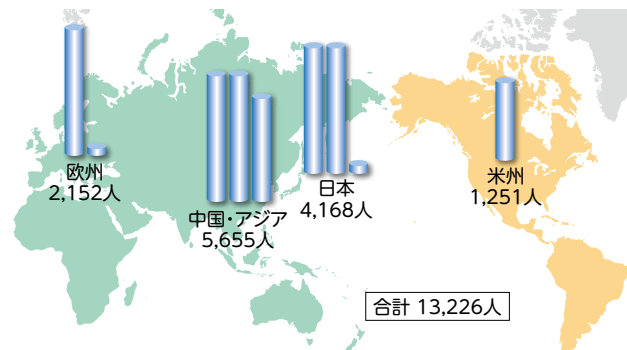


「企業は人なり」の理念



「人とその組織のチームワークこそ、会社繁栄の礎」。企業創業の精神に脈々と流れる基本思想のもと、多様な社員が意欲に満ち、グローバルに活躍できる会社をサンディンググループは目指しています。23カ国・地域の54拠点で国や文化、性別、キャリアなど多様な社員がいきいきと能力を発揮できる職場環境づくりに注力しています。

■ 地域別従業員数



2016年3月末時点の人員です。
人数には子会社・関係会社非正社員を含んでいます。



物流部門の ウーマン・オブ・ザ・イヤー2015に選出

2016年6月、ポーランドのワルシャワで開催された第5回物流フォーラムで、Sanden Manufacturing Poland sp. z o.o. (ポーランド)の物流マネージャーが同国内の物流サービス部門のウーマン・オブ・ザ・イヤーに選ばれました。



Joanna Patera
SMP 物流マネージャー

この賞は2011年から実施されており、物流部門で働く人たちの販売促進や物流サービス面で優れた女性に贈られています。



ダイバーシティの推進

2015年4月に持株会社体制がスタートしたことを受け、12月に「女性フォーラム2015」を開催し、サンデンホールディングス社長による「サンデン ダイバーシティ活動宣言」を行いました。

会場には約230人の女性社員が集まり、遠方拠点の社員はタブレット端末を使ってリモートで参加しました。グループディスカッションでは、「女性社員が抱えている問題や課題」「一人ひとりがどう変わるべきか」「経営への提案」などをテーマに、職場を超えて率直な意見交換を行い、仕事へのモチベーションアップにつながる良い機会となりました。

2016年4月の女性活躍推進法施行に伴い、当社グループは既に掲げている目標を一般事業主行動計画として提出しました。6月には役員に初の女性を起用し、2014年度から掲げている「2020年までにリーダー的役割の女性比率12%」の目標を達成すべく、女性社員数の拡大や女性社員のキャリア形成支援を中心に国内のサンディンググループ全体で取り組んでいきます。

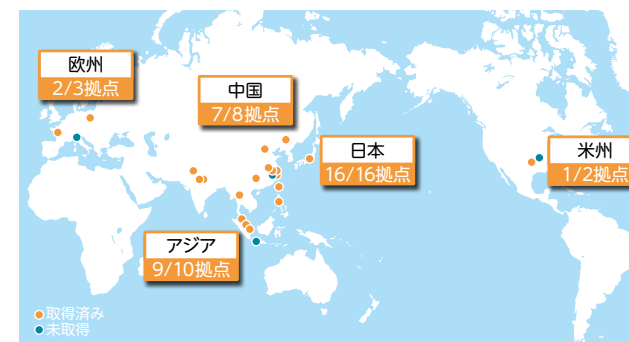
サンデンホールディングスが掲げる女性の活躍推進に関する3つの目標

- ① 最終目標 差別なく誰もがセンスを活かして輝く会社
(女性が働きやすい職場は、男性も外国人も誰もが働きやすい)
- ② 数値目標 2020年までにリーダー的役割の女性比率 12%
- ③ 対外的目標 「なでしこ銘柄」等(東京証券取引所/経済産業省)



グローバルでのOHSAS取得状況

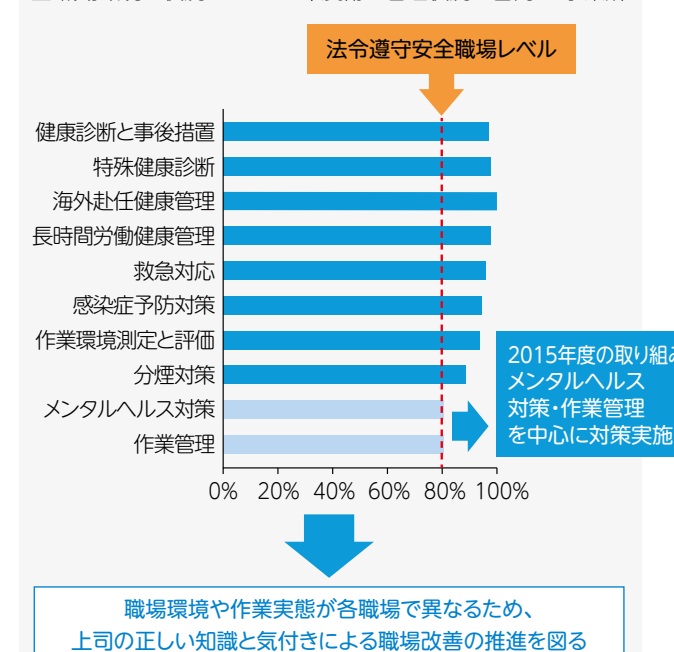
サンディンググループは労働安全衛生に対する抜本的な体質改善を図るため、2012年1月から国際規格「OHSAS18001」の認証取得活動を進めています。2016年5月現在、国内は全16拠点で取得、海外は23拠点中19拠点で取得しました。未取得の拠点も認証取得に向けて引き続き活動を行っています。



ワークライフバランスの推進 (衛生健康管理活動)

2015年度は「一人ひとりの行動で、安全で安心な職場を構築する」という安全衛生方針に基づき、活動しました。サンディンググループでは、衛生健康管理のレベルアップを目的として、チェックシートを用いた衛生活動を継続的に実施しています。

■ 職場環境の状況 2014年度衛生管理状況 国内18事業所



2015年度は前年度の状況を踏まえ、「心の健康づくり」の取り組みとして、管理監督者にメンタルヘルス教育を重点的に実施しました。2012年度より基礎教育を行っておりますが、2015年度はさらなるラインケアの強化を目指し、精神科産業医による実践教育を部長・課長・リーダーら274名に実施しました。

受講者からは、休職・復職時の対応をはじめ、総務担当者や保健師ら関係者との連携の必要性について学ぶことができたとの意見が寄せられました。



また、改正労働安全衛生法に基づき、2015年12月より適用開始となった「心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)」を始めました。ストレスチェックを実施して社員一人ひとりがストレスへの気付きと対処を行うとともに、職場環境の改善を通じてメンタルヘルス不調の未然防止とワークライフバランスに配慮した職場づくりを推進します。

■ 人事に関するデータ (単位:人)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
従業員総数	3,101	2,997	2,975	3,004
社員数	371	341	369	366
女性				
部長職	2	2	1	1
リーダー以上	6	6	10	12
新卒外国人採用数	6	3	2	4
障がい者数	59	68	76	80

※各年度3月末時点。
※サンデンホールディングスおよび7事業会社の数値となります。
※重度障がい者は1人で2人算定としています。
※障がい者数には特例子会社雇用も含まれています。

Web

サンデン CSR 人材

検索

<http://www.sanden.co.jp/csr/detail?id=12>

目標と実績

対 象	項 目	2015年度目標	2015年度実績	2016年度目標
 お客さま	品質管理	①グローバル組織横断型方針管理の徹底 ②事業の戦略課題の実現 ③STQM(サンデン独自の品質マネジメントシステム)の構築	グローバルの仕事品質と製品品質の体質強化を横串活動により機能強化実施 ①グローバル方針管理を組織横断型にて実施 ②環境技術を軸とした売上成長を品質面より加速	STQM(サンデン・トータル・クオリティ・マネジメント)のさらなる強化・徹底による顧客貢献 ①品質経営のけん引部門として、本部の横串機能を強化 ②源流品質改善のための設計品質強化 ③製品品質向上のための人材育成強化
	サービス	地球環境へ配慮した物流活動の推進 ①ECOカーの使用率の向上 ②工場調達物流再編による使用輸送便の削減 ③コンテナラウンドユースの拡大	地球環境へ配慮した物流活動の推進 ①ECOカー使用の推奨 ②共同集配による輸送便の削減 ③他社協業によるコンテナラウンドユースの実施 ④新規海外輸送ルート開拓による輸送L/T短縮 ⑤モーダルシフトの拡大継続	地球環境へ配慮した物流活動の推進 ①共同配送、引取り物流の拡大継続 ②他社協業によるコンテナラウンドユースの拡大 ③海上輸送コンテナの積載率向上 ④新規輸送ルートの開拓 ⑤モーダルシフトの拡大継続
 社員	人材育成	①新任管理職を対象とした管理能力向上研修開始 ②教育体系の再構築を通じた人材育成・能力開発のさらなる強化実施 ③グローバル人材育成に向けグローバル拠点間の人材相互派遣開始	①新任管理職・リーダークラスの管理職を対象とした管理能力向上研修実施 ②階層別教育体系の再構築 ③グローバル人材育成に向けた海外現地法人と事業会社間の人材相互派遣実施	①管理職の管理能力強化に向けた通信教育を実施し、受講率100%を実現 ②リーダーシップ教育を軸にした新たな階層別研修の実施 ③グローバルリーダー育成加速に向けた基盤の整備
	ダイバーシティ	①再雇用者のさらなる活用を目的とした評価制度の見直し ②2020年女性管理職12%に向けた積極的登用 15年度 15名 2.0%	①再雇用評価制度(チャレンジシート)導入 ②再雇用先100%確保(再雇用実績56人) ③15年度 女性フォーラム開催 ④女性対象グループディスカッション実施 ⑤15年度 リーダー的役割を担う女性13名 1.6%	①再雇用先100%確保 ②社外再雇用先開拓5件 ③男性管理職を対象にした意識醸成教育 ④女性リーダー候補を対象とした教育実施
	安全衛生/ワークライフバランス	【安全】 安全意識・意識の向上 ①リスク発見キャンペーン展開による意識向上 ②危険体験ブースによる安全意識向上 【衛生】 管理監督者教育強化と一人ひとりの健康行動促進 ①メンタルヘルスマネジメント教育「実践編」によるラインケア強化 ②メタボ改善キャンペーン展開による健康意識・改善行動促進	【安全】 ①リスク発見キャンペーン:2,648名の社員が参加し、5,103件のリスクを発見 ②危険体験ブース:八斗島事業所、赤城事業所に危険を疑似体感する機器を有する安全道場を設立 【衛生】 ①管理監督者メンタルヘルス教育 専門教育:精神科産業医による実践教育を274名(82.5%)が受講 基礎教育:保健師による教育を100名(87%)が受講 ②週一体重チャレンジキャンペーンに260名参加し、55%が平均1kg減量に成功	正しい知識と行動で職場改善を加速 【安全】 ①基本ルールの徹底 安全衛生5か条の制定・徹底 ②職場を守る管理者の育成 安全/改善リーダー教育/安全相互確認会 ③職場環境改善の加速 リスク改善キャンペーン/リスク改善発表会 【衛生】 ①セルフケア ストレスチェック導入によるセルフケア ②職場環境改善強化 ・ストレスチェック集団分析を活用した職場環境改善 ・管理者と産業医連携
 株主・投資家	コミュニケーション	①経営トップによる決算説明会実施 ②工場見学会実施 ③カバレッジアナリストの拡大 ④海外投資家向けIR活動の充実 ⑤経営トップと株主・投資家との対話機会拡大	新会社体制下での経営トップのIR活動再構築 ①経営トップによる決算説明会実施 2回 ②株主総会時の工場見学会の実施 ③カバレッジアナリスト 2社新規カバレッジ予定	①持株会社体制下での経営トップと株主、投資家との対話活動の構築と充実 ②情報開示内容と機会の充実 ③経営トップによる決算説明会の実施 ④工場見学会の実施
 地域社会	地域貢献活動	グローバル全拠点において地域と連携を図った社会貢献の推進	グローバル各拠点で社会貢献の実施 ①サッカー(U-11)スポンサーシップ「第1回サンデアカップ」開催(日本) ②命の尊さを伝え分かち合うマラソンに参加(フランス) ③地元の小学生にCSR教育を実施(イタリア) ④ワークキャリア開発支援(タイ) ⑤グローバル各地域での清掃活動 《詳細はP19参照》	グローバル全拠点において地域と連携を図った社会貢献のさらなる推進 ①教育支援 ②災害復興支援 ③社会福祉支援 ④環境保全 ⑤スポーツ振興
 取引先	CSR調達展開	①CSR調達の推進拡大によるサプライチェーンの競争力強化 ②経営トップの主要取引先訪問と課題の抽出 ③グローバルに取引のある取引先との連携強化と信頼関係構築	①紛争鉱物グローバル調査継続実施 ②事業懇談会にて取引先中期目標の設定 ③G-CF会開催:国内72社、海外20社出席 ④海外MPS部長とMPS会のビジネス交流会実施	①社内情報ルート整備による、紛争鉱物 顧客対応の迅速化 ②MPS会取引先50社訪問:新技術提案の引き出し ③MPS会定例会参加による取引先84社トップとのコミュニケーションの強化 ④G-CF会開催による優良取引先とのコミュニケーション強化
	コミュニケーション			

※上記「対象」のもととなっている「企業理念」はP1に掲載されています。